

# 第36回

# うつのみやこども賞だより

## 令和元年度 4回

市内5・6年生の選定委員さんたちが、月に4冊の本を読んで、年間で一番人気の高かった本に「うつのみやこども賞」を贈っています。

### 《今月選ばれた本》

## 『長浜高校水族館部!』

令丈ヒロ子／著（講談社）



令和元年9月1日

### ～読んだ本の感想より～

- いろいろなことをのりこえながらも、すごく成長しているのにおどろいた。
- 部活で思いがけないことがいろいろ起こっても、みんなではげましあいながら問題を解決していたので良かったです。それに、自分達が高校に入るのはまだ先だけど、全国の高校にはいろいろな部活があるということが知れました。
- 実際にあった話とは思えないくらいすてきなお話だなと思った。水族館部なんて聞いたことがなかったから、興味が持てて、ページをめくる手が止まらなかった。
- 実話だということにおどろきました。私ものこんな部があったらいいなと思いました。
- 私達のまわりにはない水族館部で、おもしろかったです！

### 『おばあちゃん、わたしを忘れてもいいよ』

緒川さよ／著（朝日学生新聞社）

- 山場がはっきりしていて分かりやすく面白かった。
- 登場人物が個性豊かでよかった。ユミの大ジジの死とか悲しみをのりこえながら成長していく辰子やユミの姿に感動した。
- 日本の昔の文化を少しずつ取り入れていて、日本の良さと家族の大切さが分かるとても良い本だと思いました。
- 辰子がおばあちゃんとすごしている日々を読んでいていやされ、心が熱くなった。
- 内容に絵のふんいきがとてもあっていて、感動が倍になった！！そして、さいごのおわりかたが良かったです。

### 『さよ』

森川成美／著（くもん出版）

- 源義経がさよを女だと気づいた時は、どきどきしたけど、最後2人が助かってよかった。
- 最後の部分がスッキリしました！さよは心強くて、やさしい女の子だと知りました。戦争の苦しさやつらさなども知りました。戦争はなくなってほしいと思いました。
- 弓や太刀など、なじみがない言葉もたくさん出ているが、話の内容が分かりやすく書かれていて、楽しく読めた。
- 内容が詰まっている感じで、どのシーンも面白かったです。さよの作戦が全てうまくいくわけではないのでハラハラしました。
- 最初、難しそうなおぼんずか～と試してみたら、けっこうおもしろくて、さよは強いな～と感じました。

### 『こちらへそ神異能少年団』 奈雅月ありす／著（ポプラ社）

- 全体的にとっても読みやすく面白かった。目と耳から五感では、とわり出して行くところがなかなか良かった。そして、最後の最後で界耳が泳げないという事を入れてきたのにおどろいた。
- とても面白かった。異能がどうして耳と目しかないのかというのには気がつかなかった。まさか予知能力だったなんて、とてもびっくりした。
- 色々な個性の人が異能を持っていて、おもしろかったです。
- 異能は悪用していいのか？とおもったけど、おもしろかった。
- これまでの選定委員ではなかった、はちゃめちゃん感じだったのでおもしろかったです。あと、主人公が異能をもっているというあまりない人物設定がおもしろかったし、地震がおきて、子供たちだけの自給自足のサバイバル生活になるというストーリー展開がおもしろかったです。